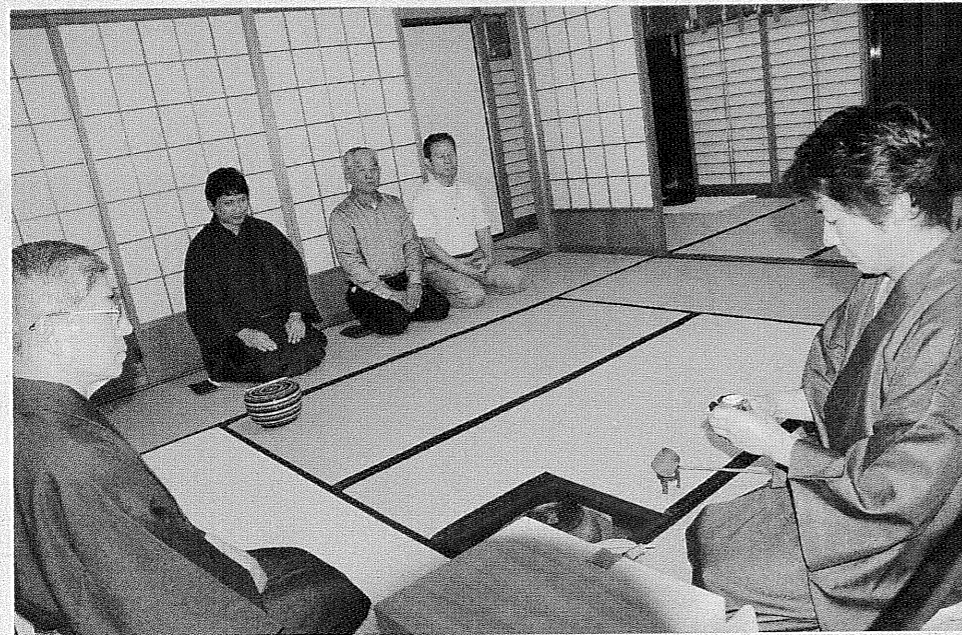




darva@okinawatimes.co.jp

教授の名幸修二さん(左)が見守る中、熱心に茶道の作法を学ぶ男性たち＝那覇市若狭・護国寺内

### 茶道 姿勢崩さず



# 男が極める「和」

東京では、若い男性の間で茶道など「和のお稽古」が静かなブームという。県内では若者に目立って人気というわけではないものの、生け花や茶道などを学ぶ男性がここ数年、少しずつ増えています。茶道、生け花、詩吟を楽しむ男性たち取材しました。



春雨したたる4月のある日。あたりが暗くなってきたころ、那覇市若狭の護国寺に、仕事帰りの男性たちが数人現れた。入っていた先は敷地内の茶室、出迎えたのは、教室を主宰する表千家同門会支部副支部長の名幸修二さん(61)。

この日集まった5人の弟子たちは背筋を伸ばして正座。亭主役が茶をたて客が和菓子とともにいただく。師匠が見守る中、淡々と進む一連の動作。時には会話を交えて和やかさもあがるが姿勢を崩す者はなく、厳かな雰囲気も漂ってくる。

### 華道 癒やし求め



普天間直信さん(右から2人目)のアドバイスも取り入れながら、花を生ける生徒たち＝那覇市前島・芳翠苑

「慌ていても自分を客観視できるようになった」。本業はソムリエの榎本正史さん(41)＝東京都出身＝は、茶人の武将が登場する漫画「へうげ(ひょうげ)も」(作・山田芳裕)がきっかけ。茶を中心に展開する物語に「自分も」と、教室。土曜の屋下がり、女性

室の門をたたいた。魅力を感じた。道員や茶室の建築など、楽しむ切り口がいろいろあるところ」と目を輝かせる。

## お稽古 静かな人気



### 一人で入門長く続ける

今回取材した茶道、生け花、詩吟を学ぶ男性たちに共通していたのは「一つのことに究めたい」という気持ち。強いこと。それぞれが師匠たちは「数は女性の

半分もいないが、一度始めると長く続ける人は多い」と話す。表千家同門会支部の場合、女性は仲間を誘い合っていることがほとんどだが、男性は本などで興味を持ち、一人で入門する人が多いという。



張りのある声を響かせる生徒たち。講師の玉城正範さん(奥)は後ろから声の具合を確認＝那覇市真地・ウエルカルチャースクール

### 詩吟 声高らかに

平日の午前。那覇市内のカルチャースクールで、約10人の男性が声高らかに詩を吟じていた。沖縄玉岳風会会長の玉城正範さん(67)＝浦添市＝が、コンダクター(トレーナー)と呼ばれ

る、音を調整する鍵盤ハーモニカのような機器を使っている。玉城さんは「詩吟は、9年の元校長、前山田任さん(73)＝那覇市＝は、習い始めて2年目の時、脳梗塞で倒れた。意識回復後は時折治療室でも吟じていたという。『今日はこれができた、と気が生まれた。回復につながったと思う』と振り返る。銀行員だった新井清正さん(65)＝那覇市＝はもともと漢詩が好きだったが、玉城さんの教室で琉球漢詩と出会い、とりこに。吟じているときは気持ちがいいという。踏み出す一歩は勇気がいるが、自分磨きに和のお稽古とはどうですか? 文・写真・上間千沙恵

### 簡単ツナマヨコーンパン



④

- 材料(7個分)
- ホットケーキミックス…150g
- 牛乳…大さじ4～5
- ツナ…小1缶
- コーン…大さじ3
- マヨネーズ…大さじ2

- 作り方
- ①おわんにツナ、コーン、マヨネーズをあわせる。
- ②ボウルにホットケーキミックスと牛乳を混ぜ、よくこねる。
- ③②を7等分して①を包む。
- ④170度に熱したオーブンで15分焼くと出来上がり。

#### ★ポイント

ホットケーキミックスと牛乳を混ぜた生地にハーブを加えたり、中に包む具を変えたりすればバリエーション豊かなオリジナルのパンに。簡単にできるので休日にお子さんと、作ってみてはいかがでしょう?

1人分…170kcal(田島勝美・栄養士)

「簡単レシピクローバーカフェ」は、県栄養士の栄養士4人が担当します。簡単にできるヘルシーメニューで、皆さんの食卓を応援します。